

# 愛 & ハート

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

## 愛の家

- 小旅行日記
- 地域移行について
- 事業所の歴史を辿る
- 新たな50年に向けて

## あいハート須磨・離宮前

- ノーリフトケアの定着に向けて
- N様の支援を振り返って
- 有料老人ホームを選ぶ際のチェックポイント②

## 『第1回法人内事例発表会』の開催について

## 2022年度 第1四半期 運営状況

## ご寄付について



260号

2022 August

# 愛の家

## 小旅行日記

かがやきスタッフ 加藤 千尋

未だ猛威を振るっている新型コロナウイルス。毎日ニュースで感染者数を見るのが日課となってしまいました。「おっー少しづつ減ってきているー」と思ったら「つわあー。また増えて来たなあ……。」といったちごっこのような日々となっていました。

ふと気が付くと新型コロナウイルスが発見されてから3年も経っていました。不思議なものであんなに嫌だったマスク生活にも慣れ、むしろマスクをしないことに違和感を覚えるようになってしまいました。

私は旅行が好きなので、感染者数が減り政府からの制限が緩和されるたびに「そろそろ旅行できるかな」と毎回、胸を高鳴らせて「あそこに行きたいなー」「コロナ前に行った○○県も、もう一回行きたいなー」と期待を膨らませてばかりいます。するとまた感染者が増えてきて、膨らんだ期待が萎んでしまい落胆しています。



5月後半の少し落ち着いてきたころ、遠くは気が引けたので「近場で

ちよつと……。」と思い京都に出かけました。コロナ禍の影響で様々なお店が閉まっていたり時短営業になっていたりと、さらに外国人がいらないからか人もまばらで、人が少なくて嬉しい反面活気がなく寂しい気もしました。

お店の方も「外国人さんが来なくなつて、売り上げが半分以下になつた。」と頭を抱えておられました。少しでもお店を潤わせてあげたいと思い、自粛ストレスも相まって普段だと悩むような金額の物を「この際だから買っちゃえー」と買ひ物に発散しました。

第7波が押し寄せ、私の中の膨らんだ期待がまた危機を迎えています。この危機で期待が萎んでしまえば、またゼロからちまちまと膨らませようと思

います。そんな自分自身のことよりも施設イベントや帰宅が中止となつてしまった利用者さんの方が、もっと窮屈な生活を強いられていると思うと心苦しく、少しでも楽しみを持って生活してもらえような支援が提供できるように、これから



## 地域移行について

きぼうスタッフ 能治 敦

2021年度5名、2022年度5名と立て続けに地域移行する児童が在籍し、この2年間できぼうから20名中10名が卒業をすることになります。

昨年度の5名は、支援学校を卒業後それぞれの移行先でがんばっているようです。5名中4名がグループホームへの入所で、1名が施設への入所となりました。グループホームへ移行したひとりがアルバイト契約ではありませんが、一般就労することができました。

一般就労した児童(Mくん)は岸和田市にある病院の厨房へ就職したのですが、Mくんが高1のときに将来の夢を聞くと、料理を作る人になりたいと話しており、夢をかなえることができ

て凄いなと感心しました。また夢をかなえるためのお手伝いができたことが、とても感慨深いものがありました。他4名も多くが小学部低学年から関わっていた子どもたちだったので、小

さかった児童たちが大きくなり愛の家を巣立って行くことに喜びと寂しさを感じました。しかし、余韻に浸る間もなく今年度卒業の5名の進路も決



めていかなければならない時期になってきました。

ひとりの児童は自衛官になりたいと以前から話していた、試験を受けることになりました。

7月中にグループホームへトライアルを予定している児童もいます。本人にグループホームの説明をすると、満面の笑顔で「行く。」と喜んでいました。体験後に本人と振り返りを行い、感想を聞きたいと思います。また、もうひとりの児童は自宅に戻り生活するのか、グループホームで生活するのかを保護者と話し合いを重ねています。

他2名については、まだ具体的な話は進んでいませんが、グループホームや施設、自宅など本人にとってより良い進路を、きぼうスタッフみんなと考

## 事業所の歴史を辿る

工房みさきリーダー 城間 洋子

今回、工房みさきの前身である「さくら園」を知る方にお話を聞くことがで



きましたので、現在に至るまでの変遷をご紹介したいと思います。

### 「わくわく園」

開設前は、親の会にて軽トラックを借りし資源回収や、親が手芸品などを作ってバザーで売上げ資金を集めるなどの取り組みが行われていたそうです。

活動の成果が実り1980年、岬町に「心身障がい児通園施設こぐま園」が開設。その2年後に、学校卒業後の居場所・活動の場として、紡績工場の社宅跡地に「さくら園」が開設されました。

「あのときは若かったからできた」「今やったら倒れるわ」「保健師さん、岬町長のおかげでできた」等々。当時は、育児や療育の中心は母親であったことや当初は父親が参加し行政対応にもあたっていました。が、「いつのまにか父親の参加がなくなり、母の会になっていった」というお話が印象的でした。

親の会は、わが子（地域）だけにとど



まらず岬町への協力要請も行いました。この姿勢を受け止めた岬町長が、淡輪学園（愛の家の前身）を訪問し、当時の園長に入所児を地域の小学校へ通学することを勧めてくれたりもしたそうです。

2003年、「さくら園」から愛の家「工房みさき」にその思いは引き継がれました。

いつの時代も、親として「安心・安全」「子どもの居場所があること」等のご意見を耳にします。

それでは、ご本人（利用者）の気持ちはどうだろうか。ご本人が潜在能力を発揮しやすいよう工夫し、その人らしい生活を送れるよう、応援やサポートができているのか。自問自答しながら反省する毎日です。

来年は「工房みさき」開設20周年となる節目です。この数年、コロナウイルス蔓延防止のために、活動の制限にて行事や地域との交流が途絶えている状況です。

「わくわく園」から受け継いだ思いを後世へ送りつづけるためにも、みんなと一緒にこれからも成長していきたいと思えます。



## 新たな50年に向けて

施設長 上野 隆幸

日頃は、事業団並びに愛の家の運営に多大なご支援・ご協力を賜り誠に感謝しております。

年明けから愛の家施設長に就かせていただき、早や半年が過ぎました。が、実感として「まだ半年過ぎながら」といっほど濃厚な期間でもありました。何事も初めての経験が多く日々勉強であると感じています。

また、その間に新型コロナウィルスによる施設でのクラスターの発生もありました。その節は、皆様方に大変ご心配をおかけしましたが、多くのご協力もいただきました。本当にありがとうございます。今後も新型コロナの影響は収まることはないと思われれます。如何にこのウィルスと共存していくかが課題となります。昨年、愛の家は創立50年を迎えました。

今、愛の家では、「未来の福祉施設」をテーマにプロジェクトを進めています。これは、ある財団での助成金申請への取り組みではありますが、毎月建築士（ボランティア）を交え、職員それぞれが「未来の愛の家」について考える良い機会となっています。

こうして職員が「未来の愛の家」をどうしたいか、どうしたらよいか、どうすれば地域の方々や利用者・職員が共に楽しく過ごせるか、またどう

すれば地域の発展に貢献できるかを、施設のハード面・ソフト面を含め、経費を度外視し

夢膨らませながら話し合っています。なかには、「温泉を掘って露天風呂を作ってみなで入ろう！」などの意見もあり、大いに盛り上がっています。

「地域共生社会の実現」を難しく考えるのではなく、愛の家が「誰もが一緒に楽しく過ごせる場所」になればと夢をもって話し合っています。

現実は大変厳しいと思います。職員それぞれが抱える個人や家庭内や職場内での悩み事、支援についてもうまくいった日、いかなかった日、対人援助の業務は日々変化と葛藤はつきないと思います。福祉業界のご多分に漏れず愛の家でもマンパワー不足は恒常的な課題となっています。

みんなが楽しく集う「未来の愛の家」それは簡単には実現しないでしょうが、諦めず思いを込め行動していけばきっと10年、20年、50年後には誰もが予想もしなかったような「愛の家」ができると思っています。

利用者や保護者、そこで働く人にとつても「だから愛の家」と思っているだけのような、そんな自慢できる施設にしたいと思えます。

無謀と思われるかもしれませんが夢の実現のためにも、職員一丸となって歩んでいきますので、今後とも更なるご支援とご協力をよろしくお願いたします。



# あいハート須磨

## ノーリフトケアの 定着に向けて

特養 主任補佐 川合 祥博

長年、医療・介護業界で働く多くの看護師・介護士の方が腰痛



症を抱えているという問題があることは皆さんご存知だと思います。あいハート須磨特養部門内でも介護・看護職員を対象に調査を実施したところ、一昨年は7割、昨年は6割弱の方が腰痛症を抱えていることが分かりました。昨年度はノーリフト研修を定期的に行い、腰痛症を発生させない身体の使い方や福祉用具の使用方法についての理解を深め、スライ



ディングボードやスライディングシートを導入しました。腰に負担がかからないように、ベッドの細かな高さ調節を行うなど、職員の腰痛予防に対する意識が変わりましたが、まだまだ定着には至っていません。

今年の6月から特養部門長、主任を中心に私も含めた7名のメンバーでノーリフトプロジェクトを発足しました。今年度は年4回腰痛調査を

行い、調査結果を安全衛生委員会に報告する計画です。さらにプロジェクトメンバー全員で「管理者・教育」、「福祉用具管理」、「健康管理等データ分析管理」、「個別アクセスメント及びプランニング」の4つのテーマからなるノーリフトケア・マネジメント研修に参加し、ノーリフトケアの定着への取り組みや介護技術について学び、現場での効率的な普及を目指していきます。

昨年完成した増床棟の2階、3階の居室には4床ずつ天井走行式リフトが設置されており、各フロア2名ずつ対象者を決め活用を開始していきます。ご利用者様に安心、安楽な介助をご提供するのはもちろんですが、職員の負担軽減にも注力し、様々な視点でノーリフトケアを大きく推進できるよう、プロジェクトメンバーで取り組んでいこうと思います。

## N様の支援を 振り返って

居宅介護支援事業所 部門長  
丸島 幸子

先日、ケアマネジャーとして10年間担当させていただいたN様が天国へ

旅立たれました。振り返れば、様々な出来事があり、私をケアマネジャーとして成長させて下さった方です。

N様は男性で、強面。いつ怒り出すか分からず、最初はびくびく対応をしていたことを思い出します。セクハラまがいの言動や、思い込みによるお叱りなど、たくさんのエピソードのほか、精神的な不安定さから自殺未遂をされて精神病院へ入院し、その後一人息子さんを亡くされるなど、辛い出来事もありました。

昔、拝み屋のおばあさんに占ってもらった時に「あなたは、家庭には恵まれていない、寂しい人生や」と言われたことをN様はとても気にしていらっしやいました。子供時代に戦争でご両親、ご兄弟を無くされ、ご自身も空襲で足を怪我され、2度の大きな手術もされています。国への恨みも会話の端々に出ていました。

支援をさせていただくうちに、とても繊細で、情が深く、義理堅く、寂しがり屋ということが分かりました。そして、私をとて信頼して下さり、「あなたの声が聞きたかったんや。あなたの声聞くと落ち着くわ。」と言って下さることもありました。常に「あんた、わしのお棺に嫁と父親

の写真を入れて、ほんで、息子が眠っている○○寺へ入れて。」と遺言は何度もお聞きしていましたので、事前に終活相談を専門にされている方にすぎ、面談で意向を伝え、協力していただくお約束はできていました。



最期は一人で亡くなられており、突然のお別れとなりましたが、訪問看護や訪問介護、通所介護等の方々と一緒に最期まで支援させていただき、ありがたく思っております。



ありがとうございました。(この犬はN様から譲り受けたわんこです)



## あいハート離宮前

### 有料老人ホームを選ぶ際の チェックポイント②

施設長 古崎 徹

平素はあいハート離宮前の運営にご理解とご協力を賜わり感謝申し上げます。

さて今回は「見学」の重要性についてお伝えしましたが、今回はサービスタッフの質に関するチェックポイントについてお話ししたいと思います。

ご承知の通り、介護を支えるのは「人」であり何よりスタッフの質が重要ですから、巷に溢れる物の本ではよく「職員の定着率をチェックしなさい」と解説しています。

確かに定着率が低いと時間をかけた教育や育成ができず、必ずそれはサービスタッフの質に反映するのだと私も考えますが、さすがに検討段階で離職者数などを尋ねるのは躊躇されると思います。そこで私は「介護福祉士」という国家資格取得者の割合をひとつの指標として確認い

ただくことをお奨めしています。

あいハート離宮前の現在のこの割合は約89%であり、令和2年の厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」の特定施設の平均が46.1%ですので、業界では群を抜いていると自負しています。

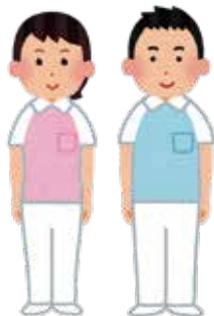
但し、誤解しないでいただきたいのですが、私は国家資格を持たない職員は質が低いと言っているわけではありません。この国家資格の受験には3年の実務経験が必要であり、それを目指して頑張っているスタッフなど当ホームのスタッフは資格の有無に関わらず、皆が心優しく丁寧な仕事をしています。

ただ、介護保険制度では国が定めた人員配置の基準を満たさなければ報酬の減額や指定の取り消しがあるなど、一定の人員を資格の有無によらず確保しなければならぬ事情がありますので、離職率が高く育成期間が十分に確保できないホームではこの割合が低くなる傾向にあるのです。

職員の配置状況や有資格者の割合であれば遠慮なく質問ができませんし、多くの有料老人ホームでは重要事項説明書にて確認いただけますので、検討段階での閲覧をお奨め

しています。

今や介護業界は厚生労働省雇用政策研究会に於いて、建設業や農業をおさえ労働集約型産業の筆頭に登場いたします。私はこの分類や研究に毛頭異存はありませんが、本来「介護職」とはご利用者様の感動や心の満足が求められる高度な仕事ですから、単なる人手ではなく、その意味でも専門課程の修了もしくは実務経験を経た介護福祉士の専門性への期待は大きく、今後も職員が安心して資格取得が目指せるような環境の整備と育成に注力し、サービスタッフ向上に努めて参りたいと考えております。



農作物の出来は収穫を待たずとも土を見れば分かるといえます。介護施設に於けるサービスの質もまるで伝統工芸のような弛まぬ育成と長い歳月をかけた啓蒙の土壌があるかがポイントとなるのです。

# 『第1回法人内事例発表会』の開催について

2022年7月24日(日)コミュニティプラザ大阪3階AI道場にて、第1回法人内事例発表会を開催いたしました。愛の家から4チーム、あいハート須磨から3チーム、あいハート離宮前から1チームの計8チームが、業務改善やサービス向上に向けた取り組みの優良事例をまとめ、発表を行いました。

発表の内容は様々で、対象利用者への個別アプローチによる改善事例や事業所での業務改善における生産性の向上など、時間をかけて取り組んだ成果がたくさんみられました。また、プレゼン用のスライドに動画や音声を盛り込むなど、発表の内容だけでなく、資料の作り込みにも力を入れたチームもありました。8チームの発表が終了後、表彰式を行いました。

■結果は…



1位  
最優秀賞

あいハート須磨特養部門

テーマ

食べる力を取り戻す



2位  
優秀賞

愛の家きぼう部門

テーマ

安全且つ安心して食事を  
とってもらえるように



3位  
努力賞

あいハート離宮前部門

テーマ

『継続』～ノーリフトケアへの  
取り組みから学んだこと～



各チームには表彰状と報奨金が贈呈されました。法人内の他事業所との交流機会にもなり、発表を通して、得た気づきを、今後の現場での業務に取り入れながら、更なる業務改善やサービスの向上に繋げていきたいと思っております。

今後は毎年定例開催となります。愛&ハートや法人ホームページ、SNSでも発信していきますので、乞うご期待ください。



# 2022年度 第1四半期 運営状況

## 資金収支計算書

2022年4月1日から6月30日までの累計

	本 部	愛の家+きぼう	あいハート須磨	あいハート離宮前	脳梗塞リハビリ ステーション神戸須磨	合 計 ※
介護保険事業収入	0	0	128,698,560	28,499,425	0	157,197,985
老人福祉事業収入	0	0	0	32,730,321	0	32,730,321
リハビリ等事業収入	0	0	0	0	4,438,500	4,438,500
児童福祉事業収入	0	19,729,736	0	0	0	19,729,736
就労支援事業収入	0	693,163	0	0	0	693,163
障害福祉サービス等事業収入	0	102,381,365	0	0	0	102,381,365
経常経費寄付金収入	10,234,224	122,000	100,000	0	0	10,456,224
受入利息配当金収入	860,687	20,370	21,450	0	0	902,507
その他の収入	5,600	680,594	1,497,526	5,871,661	0	8,055,381
事業活動収入計(1)	11,100,511	123,627,228	130,317,536	67,101,407	4,438,500	336,585,182
人件費支出	6,567,801	71,290,370	90,663,509	35,279,306	2,865,600	206,666,586
事業費支出	156,849	18,906,302	20,322,311	8,269,342	162,361	47,817,165
事務費支出	2,764,650	13,997,951	11,111,759	9,531,677	1,550,092	38,956,129
就労支援事業支出	0	828,466	0	0	0	828,466
利用者負担減免額	0	0	2,275	0	0	2,275
支払利息	0	0	405,780	584,951	0	990,731
その他の支出	0	212,850	1,376,450	578,521	0	2,167,821
事業活動支出計(2)	9,489,300	105,235,939	123,882,084	54,243,797	4,578,053	297,429,173
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,611,211	18,391,289	6,435,452	12,857,610	-139,553	39,156,009
施設整備等収入(4)	0	0	42,000,000	5,724,442	0	47,724,442
施設整備等支出(5)	0	579,090	2,622,059	6,493,880	0	9,695,029
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-579,090	39,377,941	-769,438	0	38,029,413
その他の活動収入計(7)	0	200,000	39,122,340	337,568	0	39,659,908
その他活動による支出(8)	910,607	428,640	828,623	0	0	2,167,870
その他活動収支(9)=(7)-(8)	-910,607	-228,640	38,293,717	337,568	0	37,492,038
当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)	700,604	17,583,559	84,107,110	12,425,740	-139,553	114,677,460

※合計欄は内部取引消去により各拠点の合計とは一致しません。

## ボランティア活動状況

※新型コロナウイルスの影響により、受入れをお断りしております。

	愛 の 家			あいハート須磨・離宮前			合 計		
	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計
利用者支援	0	64	64	0	89	89	0	153	153
施設運営(行事等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備	0	0	0	43	0	43	43	0	43
合 計	0	64	64	43	89	132	43	153	196

## 事故発生状況

	愛 の 家			あいハート須磨・離宮前			合計
	受診	診察不要	計	受診	診察不要	計	計
転倒による裂傷・骨折等	0	0	0	2	0	2	2
誤飲・誤嚥・誤薬	0	0	0	0	0	0	0
裂傷・骨折・その他	3	0	3	0	0	0	3
無断外出	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	0	3	2	0	2	5

## お客様の声 承り状況

	愛の家	あいハート須磨・離宮前	合計
ケア・支援内容	0	0	0
接客態度	0	0	0
嗜好・要望	0	0	0
設備・備品不備	0	0	0
その他(家族対応等)	0	0	0
御礼	1	0	1
合 計	1	0	1

## お知らせ

新型コロナウイルスの再流行に伴い、愛の家では、毎年10月に開催しております「運動会」につきまして、今年も感染予防対策を実施し、ご利用者、職員のみでの参加とし、午前中で終了とする、規模を縮小した開催を予定しております。

また、あいハート須磨も同様に、8月の「夏まつり」は開催に向け検討しておりましたが、感染予防対策の観点から施設内(フロア毎)での開催となりました。

来年こそは新型コロナが収束し、各施設イベントも通常開催することができ、ご家族様や地域のみなさま、ボランティアの方にも、ご参加いただける時が来るのを心待ちにしております。今後とも、ご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

# ご寄付について

日頃は当法人に対しまして、ご寄付やボランティア等のご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年もNTT労働組合様による後援会活動の取り組みをはじめ、退職者の会大阪支部協議会様による愛のカンパやNTTグループ各社様のマッチングギフト等、多くの団体や個人のみなさまから総額52,386,067円の寄付金及び寄贈品等を頂戴いたしました。

寄付者	寄付金額
NTT労組 後援会様	12,143,250
NTT退職者の会大阪支部様(愛のカンパ)	930,000
NTTグループ会社様(マッチングギフト)	3,098,400
あいハート須磨増築関連に関連するご寄付	33,163,000
その他(各企業、個人様)	3,051,417
寄付金合計	52,386,067

誠にありがとうございました。みなさま方の温かいご支援に心より厚く御礼申し上げます。



## — ご支援をくださった方々 —

### 《6月》後援会費

NTT労働組合ドコモ本部 関西総分会 様

### 寄贈品

デンタルプロ(株) 様

増原 清 様

矢部 義和 様

(計4件)

### 《7月》寄付金

NTT西日本 関西支店 様

NTT労働組合退職者の会 京都支部協議会 様

後藤 芳信 様

(計3件)

改めまして、ご寄付を頂戴しましたNTT労働組合各分会をはじめ、NTTグループ各社他、全てのみなさまに感謝申し上げます。

理事長 橋本 寿樹

## 【寄付金のお振込口座追加のご案内】

これまで、当法人へのご寄付は、主に近畿労働金庫の口座へ直接お振込みいただくか、ゆうちょ銀行の振込取扱票(料金受取人負担)を利用してご入金いただいております。現在、ゆうちょ銀行は、料金受取人負担の振込取扱票を利用しても、現金振込の場合、振込人にも振込手数料(110円)が発生するようになっております。つきましては、ご支援くださる皆様の負担を少しでも軽減すべく、振込口座を追加いたしました。インターネットバンキングをご利用の場合、振込手数料も発生しませんので、ご検討の程、よろしく願いいたします。

金融機関名	近畿労働金庫 梅田支店	みずほ銀行 堂島支店	ゆうちょ銀行	三菱UFJ銀行 野田支店
店番号	582	507	—	059
口座番号	9006617	1254625	00900-9-320887	0243064
口座名	社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団「フク」ゼンデンツウキンキシャカイフクシジギョウダン			

### 留意事項

※寄付金口座への直接振込みの場合、寄付目的は「使用目的は法人に一任」といたします。

※領収書を希望される場合は、①名前、②住所、③電話番号、④振込日、⑤振込銀行名、⑥金額をメールまたは郵送、FAXでお知らせください。後日、郵送にて領収書を送付いたします。

## 「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっております。面接・電話・書面等どのようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 …………… 072-494-0123
- あいハート須磨 ……… 078-737-2525
- あいハート離宮前 …… 078-731-2130
- 法人本部 …………… 06-6458-5723

## 【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73

TEL 06-6458-5723 FAX 06-6458-9678

Website <https://www.zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail [jigyodan@silver.ocn.ne.jp](mailto:jigyodan@silver.ocn.ne.jp)

## 【発行人】

理事長 橋本 寿樹

